

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科(胆・膵)では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせて頂きます。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分または家族が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2018年4月1日から2023年3月31日の間に虎の門病院で消化器疾患術後の胆膵内視鏡を受けられた20歳以上の方。

【研究課題名】

消化器疾患術後患者に対する胆膵内視鏡の有効性の後ろ向き検討

【研究の目的・背景】

《目的》

当院で過去に行われた診療において消化器疾患術後患者における胆膵内視鏡治療の有効性を明らかにすることです。

《研究に至る背景》

現在手術技術の進歩により、消化器疾患手術後の予後は大きく改善しています。それに伴い、手術後における新たな病気の発症により、胆膵内視鏡治療を要する場合も増えつつあります。しかし手術後状態における胆膵内視鏡についての手技の標準化はまだ進んでいません。そのため過去に行われた手術後状態における胆膵内視鏡の有効性を明らかにすることで、今後の治療に貢献することが期待できます。

【研究期間】

2023年10月20日 ～ 2025年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院において研究終了後 5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診療録、看護記録、薬歴、内視鏡記録、CT など画像データ、検査データなど

【研究代表者】

該当無し

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：消化器内科 ・ 今村 綱男

所属機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当無し

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身またはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身またはご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科 ・ 前原 耕介

電話 03-3588-1111(代表)